

小規模事業者支援事業に関する有識者会議 (事業評価会議の結果)

日 時：令和 8 年 6 月 1 日 (月) 午前 11 時～

場 所：佐久商工会議所会館

外部有識者

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名
佐久地域振興局 商工観光課 課長	新 津 佳 奈
佐久市役所 商工振興課 課長	菊 池 秀 一
佐久市金融団 団長	二 村 康 隆
佐藤会計事務所税理士・中小企業診断士	佐 藤 哲 也
加藤労務経営事務所 中小企業診断士・特定社会保険労務士	加 藤 吉 紀

商工会議所出席者 7 名：専務理事、相談所長（法定経営指導員）、
経営指導員 5 名

挨拶

山田専務理事より、昨年第 3 期経営発達支援計画が認定され、令和 7 年度が 5 か年計画のうちの 1 年目として、地域の小規模事業者への持続的発展を目的とした支援を行っている旨を説明した。また、昨年度の発酵ぐるめラリーは伴走型補助金を活用し、平成 28 年度から累計 40,000 千円を超える伴走型補助金事業を実施している旨を報告。今後も 5 か年計画の事業を実施して、小規模事業者の持続的発展につなげていきたいと話した。本日は、令和 7 年度の実績報告に対して講評と意見をいただきたいとお願いした

令和 7 年度佐久商工会議所

第 3 期経営発達支援計画（令和 7 年度実施事業の実績）

1. 地域の経済動向調査
2. 需要動向調査
3. 経営状況の分析
4. 事業計画策定支援
5. 事業計画策定後の実施支援
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

以上 6 つの支援内容について磯貝課長補佐より実績報告を行い、以下のとおり講評・質問・意見をいただいた。

「1. 地域の経済動向調査」について

【質問】

地域の経済動向の調査に関する商圈分析について、令和7年度の実績が52回とあるが、どういった算出方法か。

【事務局からの回答】

小規模事業者持続化補助金(生産性向上・販路開拓のための補助金)の申請支援における経営状況の分析の件数と同様となっている。申請支援の際に、より説得力のある補助金申請書の作成を目指すために地域の商圈を分析した数字である。

「4. 事業計画策定支援」について

【講評・質問】

事業計画策定や創業計画策定、創業支援実績を拝見して、計画を立てた後のフォローアップをされていて素晴らしいと思った。こういった支援の後、どの程度追跡してフォローアップしているのか。

【事務局からの回答】

補助金申請に関する相談者には申請後に交付申請、実績報告等のフォローをしている。創業については、12月の税務相談や創業後の追加融資の相談など、あくまで相談者から相談が来たタイミングでフォローしている状況である。

【質問】

飲食業やエステ関係の創業の件数が多い中で競争も激しいと思うが、その後の経營業況はどうなっているか。

【事務局からの回答】

創業する事業者の中で飲食業とエステ関係の割合は高い。フォローアップをしている事業者を見ると、すぐに廃業したといったケースはほとんど聞き及んでいない。エステや理美容関係は技術職であり、利益率が高いことが関係していると見ている。飲食店についても開業後すぐに廃業してしまうようなケースはほとんど聞かない。佐久市民は比較的目新しい店舗が好きな傾向があるのが関係しているかもしれない。

【意見】

現在、創業後2~3年追いかけて、うまくいかなかった例、うまくいった例などノウハウを蓄えたらどうかと考えている。

「5. 事業計画策定後の実施支援」について

【意見】

事業計画策定事業者のフォローアップ対象事業者数など、令和8年度の目標値が令和7年と同じ数字の項目がある。IT導入補助金のフォローの場面でAIを活用することを前提とすれば、令和8年度の目標数を上げてもいいのではないか。

【意見】

事業計画策定後の実施支援について、利益率3%以上の増加事業者数をまとめているが、小規模企業や中小企業は節税意識が非常に高いので、経理上のどの利益か不明確である。営業利益なのか経常利益なのか、最終的な所得金額なのか曖昧である。節税をする小規模事業者が多いので、単純に利益金額でKPIを設定して実効性を測れるのか疑問。ボトムライン(最終利益)ではなくトップライン(売上高)の方がいいのではないか。

【質問】

経営ITなんでも相談会などのフォローアップ対象事業者数が目標20者に対して実績11者と、フォローアップ事業者が想定より少なかったとある。相談者にとってデジタル化に踏み切る際に何か障壁はあるのか。

【事務局からの回答】

当所会員は約2,000者いるが、DX化・IT化のレベル感は事業者によってばらつきがある。昨年度の経営ITなんでも相談会にはSNS関係を活用した販路拡大の取り組みに関する相談やセキュリティ関係のトラブル、ホームページ関係のトラブルの相談があった。事業者にとってIT機器導入への投資は金銭的な障壁である。そのためIT導入の補助金申請支援も行った。

「6. 新たな需要の開拓に寄与する事業」について

【意見】

ぞっこん！さく市の令和7年の来場者数が令和6年度比15,000人減(28%減)となっているが、「開催期間中に降雨があった」などの原因を追究してほしい。

その他ご意見・質問

【意見】

リンク先の資料が見にくい。よかったことや悪い意見など。中小企業白書のような体裁でまとめてほしい。

【意見】

今回の資料を通じて言えることだが、目標と実績の乖離があった場合はその理由を説明してもらいたい。

【質問】

小規模事業者持続化補助金の採択状況について、近隣の上田商工会議所や小諸商工会議所と比較すると採択率はどうか。

【事務局からの回答】

上田商工会議所や小諸商工会議所より採択件数は多い。ただし、採択率までは不明。

【質問】

近年では電子申請になっている補助金申請において、パソコンに慣れないもしくは操作できない小規模事業者はGビズIDも登録できず、自力で補助金申請するのは難しいだろう。そういった事業所についてはどんなフォローをしているのか。

【事務局からの回答】

ネット上の登録や補助金申請書を職員と一緒に作成・操作するなどのフォローをしている。

以上の講評、見直し提案を踏まえ、令和8年度の支援計画を、臨機応変に実施していくこととなった。

11時51分閉会